

有線LAN／無線LAN／USBに対応し、毎分50枚※¹の高速スキャンを実現

DR-S350NWは、豊富なインターフェースを搭載しており有線LAN／無線LAN／USBに対応。

カラー・白黒／グレースケールともに最速で片面50枚／分、両面100面／分の高速読取りが可能です。

一度の搬送で両面原稿の表裏を同時に読み取るため、スピードを落とすことなく快適にスキャンが行えます。

DR-S350NW 読取速度（A4タテ、200dpi／300dpi）

解像度	200dpi		300dpi	
	24ビットカラー	白黒・256階調グレー	24ビットカラー	白黒・256階調グレー
スキャンモード				
A4片面（枚／分）	50	50	40	50
A4両面（面／分）	100	100	80	100

パスポートや長尺原稿など、多彩なドキュメントに対応

一般的なビジネス文書だけでなく、レシートや伝票などの薄紙、名刺やプラスチックカードなど、多彩な原稿のスキャンに対応。長尺モードでは最大5,588mmの長尺原稿を、パスポート給紙モードではオプションのキャリアシートを使用してICチップ付きのパスポートもADFを通してスキャンすることができます。

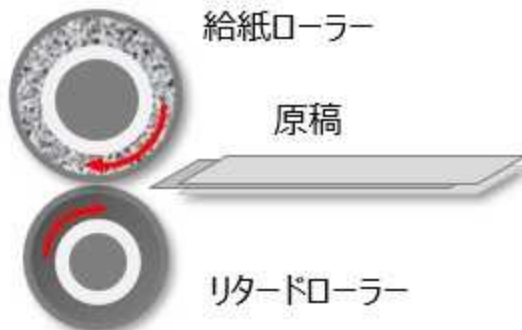
※ キャリアシートやパスポートの状態によっては、画像が欠けたり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。



「リタード」方式の分離機構

重送による読み取りエラーを抑止

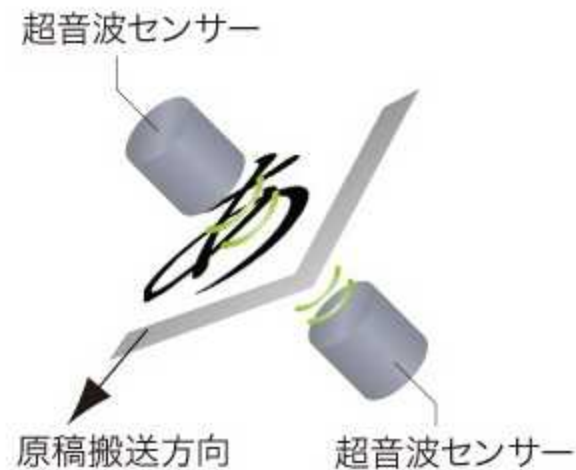
一度に2枚の原稿が搬送された場合でも、リタードローラーが原稿の搬送方向と逆回転し、原稿を確実に分離して搬送します。原稿の重送による読み取りエラーを抑止し、スピーディーな連続スキャンを実現します。さらに、複写伝票など複数枚で構成される用紙やA3半折り原稿をスキャンするときのために、「非分離モード」も搭載しました。



「超音波重送検知」機能

搬送を止めて重送を知らせる

搬送時に複数枚の原稿が重なって送られたときには、上部のセンサーが発信した超音波の変化を下部のセンサーが感知。搬送を自動的にストップさせることで、より効率的なスキャン環境を実現します。



搬送エラー検知時の処理を用途に合わせて選択可能

重送の確認・継続の指示が行える

写真や付箋紙などを貼った原稿をスキャンする際に便利な「DFR（Double Feed Release）」。スキャン中に原稿の重送が検知された場合、重送した原稿が排紙されたところで一時停止してタッチパネルまたはPCにメッセージが表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。「保存して継続」を選択すると、プレビュー表示されている画像をスキャン画像として保存し、残りの原稿のスキャンを継続することができます。

可読性・OCR精度を高める「アクティブスレッシュホールド」

ページ毎に明るさを自動調整し、画像品質を向上

白黒で連続スキャンする際に、ページ毎に明るさやコントラストを自動調整して最適な画像を生成します。原稿に合わせて設定を変更する手間がなく、さまざまな原稿を一度にスキャンすることができます。文字の薄い原稿や、複写原稿のようにシワや汚れが生じた原稿でも、きれいに再現することができ、可読性・OCR精度が非常に高い画像データを生成します。

Company Name	
E23 SYSTEMS	Account No. ESY53553A
Address	
1234 VALENCE BLVD.	
CANYONVILLE, CA 92737	
Contact Name	
D. Christie	
Phone Number	
223-1234	
Signature	
D. Christie	
Deliver to	
Software Solutions	
Address	
2013 Pueblo St.	
City, State, Zip	
Contact Name	
Geoff Bartuff	
Phone Number	
124-4321	
Signature	
Geoff Bartuff	

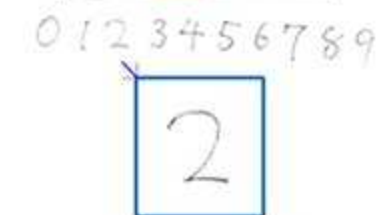


Company Name	
E23 SYSTEMS	Account No. ESY53553A
Address	
1234 VALENCE BLVD.	
CANYONVILLE, CA 92737	
Contact Name	
D. Christie	
Phone Number	
223-1234	
Signature	
D. Christie	
Deliver to	
Software Solutions	
Address	
2013 Pueblo St.	
City, State, Zip	
Contact Name	
Geoff Bartuff	
Phone Number	
124-4321	
Signature	
Geoff Bartuff	

写真入り文書モード

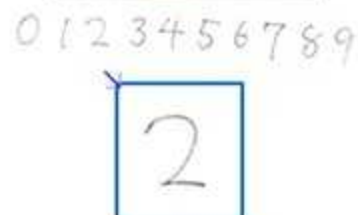
従来機では文字の可読性を高める処理を行っているため、写真入りの履歴書や申込書をスキャンした場合、写真の顔が暗くなったり、髪の毛が潰れて見えなくなることがありました。

写真入り文書モードの搭載により、簡単に写真と文字の両方をキレイにスキャンをすることが可能になりました。



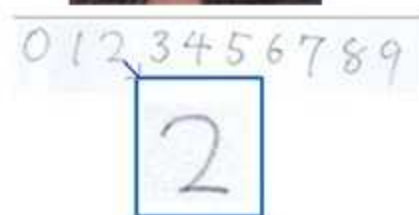
通常のスキャン画像

文字はくっきりするが、
写真部分のコントラストが強く、
つぶれが発生する



写真入り文書モード

文字がくっきりし、
写真もオリジナルに近いコントラ
ストで再現



写真モード

写真部分のコントラストは保てるが、
文字が薄くなり、ドキュメント処理には不向き

表裏結合機能

1枚の原稿を裏表並べて電子化する際に結合の向きをユーザー設定できます。これによりカードや名刺をより見やすくまとめて表示可能です。



通常の半折結合



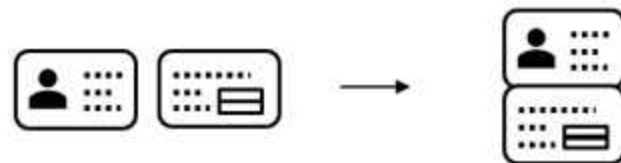
裏面を180度回転



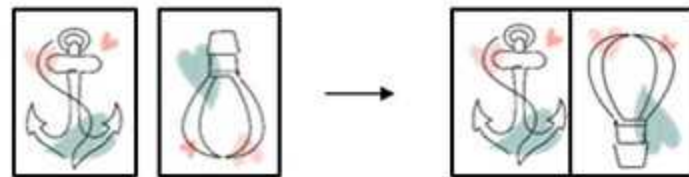
左右入替



上下結合



カードも見やすく



用紙サイズ自動検知

異なるサイズ of 原稿が混載していても各原稿のサイズを忠実に再現

サイズが異なる原稿をまとめてスキャンする際、読み取りサイズを1枚1枚指定する必要はありません。各原稿のサイズを自動的に検知し、原稿に忠実なサイズにデータ化します。

サイズの異なる原稿を
連続スキャンする際に



「用紙サイズ自動検知」

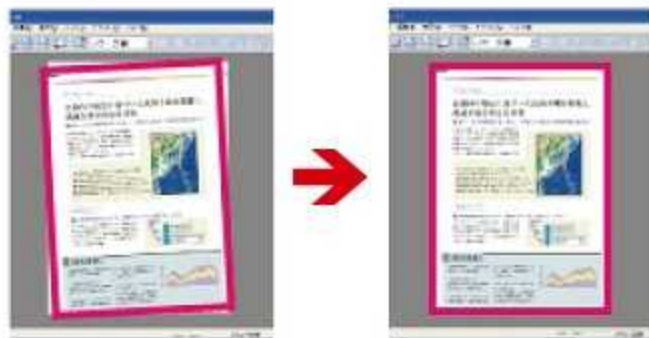


それぞれの原稿サイズを検知して画像を適正化。

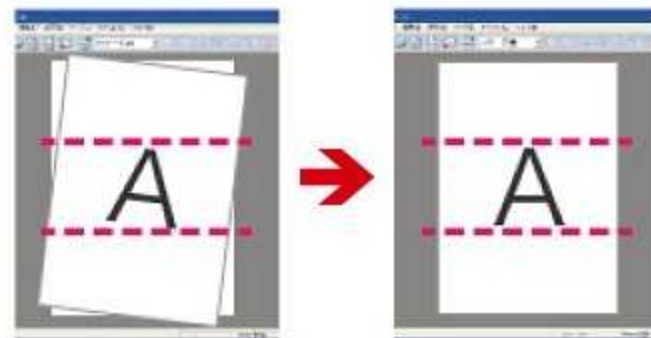
斜行補正

原稿や画像の傾きを自動的に補正

画像の傾きを検知し、自動的に水平に補正するので、スキヤンのやり直しをする手間が発生しません。斜行補正機能は、①搬送時の原稿の傾きを補正するモード、②原稿の傾きと、直線や文字列などの画像の内容から傾きを補正するモードがあり、用途に合わせて選択できます。



搬送時の原稿の傾きを補正する



画像の傾きを補正する

白紙スキップ

片面／両面原稿の混在時に不要な白紙面を消去

両面印刷と片面印刷の原稿が混在している場合、白紙を自動的に削除したデータを生成します。スキャン後に手でデータを編集する手間を省き、ファイルサイズも抑えることができます。



文字向き検知

不揃いな原稿の向きを自動補正

文字の向きから原稿の上下左右を認識。スキャン画像を自動的に正しい向きに揃えます。原稿の向きを確認して揃え直す手間を省くことができます。

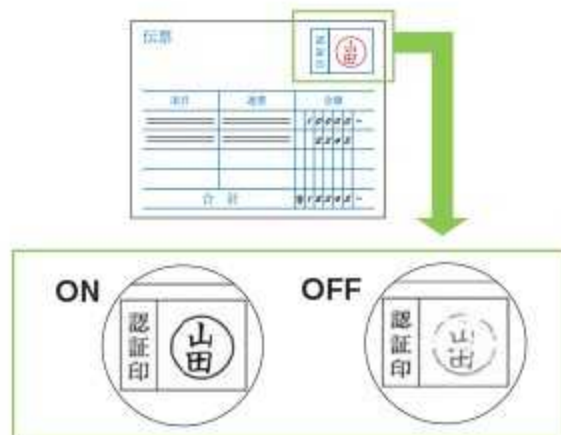


色強調機能

捺印のかすれを自動補正

契約書や伝票などを白黒でスキャンした場合、印影の薄い部分が再現されず、かすれてしまうことがあります。「色強調機能」を使用することで、薄い印影の再現性が高まります。

※ 指定した特定の色（赤・青・緑）または有彩色を強調した白黒またはグレーの画像を生成します。



カードドロップアウト

帳票や伝票のOCR処理精度を高める

指定した特定の色（赤・青・緑）または有彩色の中から、指定した色の枠線や罫線を削除。カラー伝票・帳票のOCR処理の精度を飛躍的に高め、その後の処理をしやすいデータを生成します。



スキャン原稿



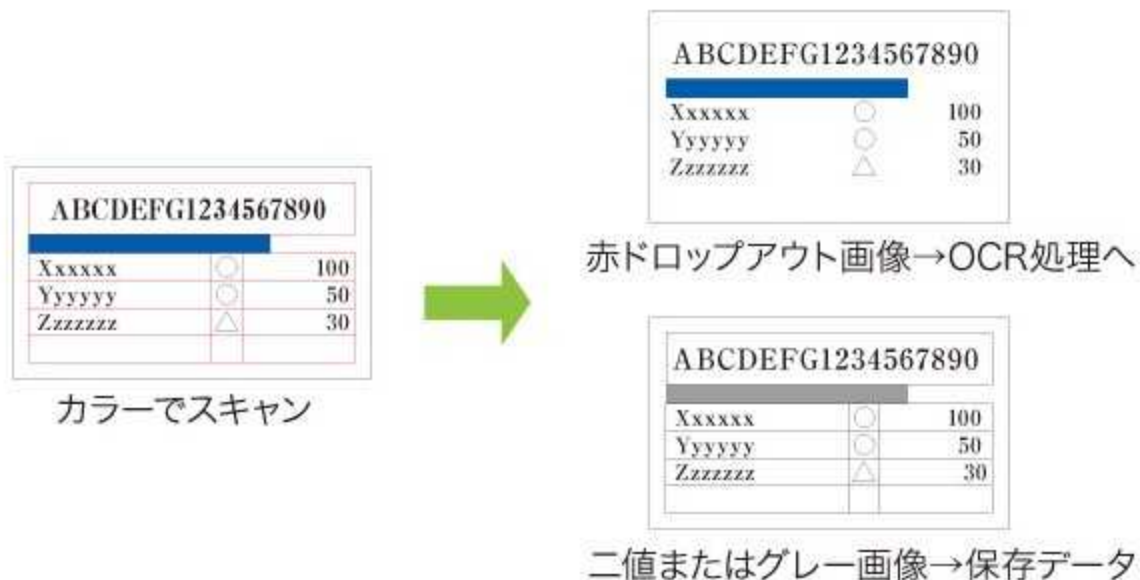
ドロップアウト後の原稿

マルチストリーム

1度のスキャンで最大3種類のデータを生成する

1度のスキャンで、異なるスキャン設定でのイメージを同時に出力します。たとえば、帳票スキャンの場合、1つはモノクロ設定で保存用データに。もう1つはOCR処理用にカラードロップアウトしたデータにするなど、スキャン作業を繰り返すことなく、効率的に業務を進めることができます。

※ 原稿の種類、アプリケーションソフトによっては、画像処理機能が対応していないことがあります。

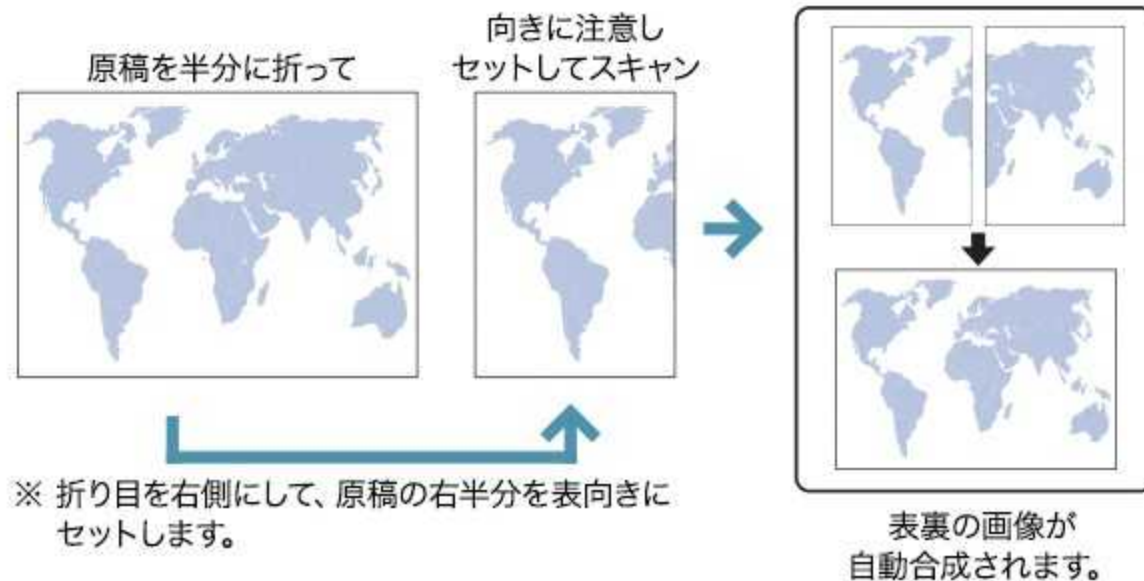


半折りスキャン

最大A3サイズまでの原稿をスキャン可能

原稿を半分に折った状態でスキャンし、表裏の画像を合成し一枚のデータにする「半折り」スキャン機能を使用すると、最大でA3サイズ of 原稿をスキャンすることができます。

※ 読み取りモード、解像度の設定によっては画像が欠けることがあります。



背景塗りつぶし機能

黒背景のデータを生成可能

OCRシステムや手形小切手を取り扱うシステムの場合、紙の四隅の位置や原稿の折れ／欠けの検知のために黒背景が必要な場合があります。

本機は通常背景色白のデータを生成しますが、背景塗りつぶし機能により黒背景にも対応可能です。これにより黒背景が必要なシステム案件にもカスタマイズなしで対応が可能です。



有彩色強調

淡い色のカラーペンで書き込みを行っている場合でも、「有彩色強調」機能を用いて記載内容を強調し、可読性を高めることができます。従来機では書き込まれているペンの色が複数色の場合、1枚ごとにどの色を強調するか指定する必要がありましたが、強調する色を指定せずに有彩色を強調する処理を行うため、可読性の高いグレー画像を生成します。



原稿



通常のグレー画像



有彩色強調したグレー画像

CaptureOnTouch Lite Web

ソフトウェアのインストールが不要なブラウースキャンに対応

専用のドライバーやソフトウェアをインストールしてスキャンを行う方法以外に、ソフトウェアのインストールが不要なブラウースキャンに対応しました。PCの場合は、PCのブラウザでスキャナーのIPアドレスを入力することで、スマートデバイスの場合は本体に表示されるQRコードからブラウザ上の操作画面にアクセスしスキャン可能です。

これにより下記メリットをご提供致します。

- ※ パソコン、スマートデバイスをスキャナーと同じネットワークに接続する必要があります。
- ※ スマートデバイスの場合でもスキャナーのIPアドレスを入力してご利用いただくことも可能です。

- どのデバイスでもすぐにスキャンできる
- 様々なOSで利用が可能
- ソフトウェアやドライバーのインストールの手間を削減



②PCにドライバーとソフトウェア「CaptureOnTouch Pro」をインストールしスキャンする

パソコンにインストールしたCaptureOnTouchProからブルスキャンが行えます。
直感的でシンプルな操作性で電子化を支援致します。

CaptureOnTouchProのご紹介

③「CaptureOnTouch Lite Web」を利用したブラウゼースキャン

新機能CaptureOnTouch Lite Webによりソフトウェアのインストール不要でスキャン操作が可能です。操作はパソコン／スマートデバイスのブラウザー画面で行います。

PCの場合は、PCのブラウザーでスキャナーのIPアドレスを入力することで、スマートデバイスの場合は本体に表示されるQRコードからブラウザー上の操作画面にアクセスしスキャン可能です。

- ※ パソコン、スマートデバイスをスキャナーと同じネットワークに接続する必要があります。
- ※ スマートデバイスの場合でもスキャナーのIPアドレスを入力してご利用いただくことも可能です。

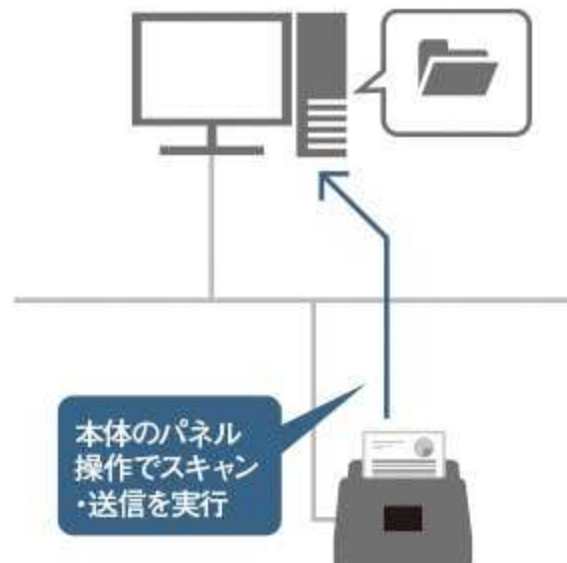
PCレスでのスキャン&送信を実現

有線LAN／無線LANによるネットワークスキャンに対応

USB／有線LAN／無線LANの3種類のインターフェースに対応し、多様なオフィス環境において、自由なレイアウトでスキャナーの共有・活用が可能です。

① 本体操作パネルに登録した「よく使う設定」からジョブを選択しスキャンする

WEB Menuから本体のジョブリストに設定を登録。あとは、本体パネルからジョブを選択するだけで、PCを操作することなくスキャンの実行からデータの送信まで行えます。



④複数PCでスキャナーを共有

スキャナーをネットワーク上の複数のPCで共有でき、PCにインストールされた「CaptureOnTouch Pro」の「お気に入り」に登録したジョブを実行できます。



業務システムとの連携を効率化するサーバーソフト「COT Admin」

専用のサーバーソフト「COT Admin」は、スキャン設定やユーザー情報の集中管理を可能にし、分散業務における効率的で安全性の高いスキャナーの運用を実現します。「COT Admin」を使用することで①「ジョブの管理と配信」、②「ユーザー認証」、③「プッシュスキャンの拡張」といった新たな機能を実現できます。

①「ジョブの管理と配信」

管理ツールを使用して、スキャナーの登録／削除、各スキャナーへ配信するジョブの登録／管理が可能です。タッチパネルに表示するジョブを、デバイス毎やユーザー毎に設定／管理できます。

②「ユーザー認証」

AD（Active Directory）からユーザー情報をインポートし、ADと連携したユーザー認証機能を利用できます。また、ICカード認証機能[※]と連携したユーザー／ジョブ管理も可能です。

③「プッシュスキャンの拡張」

スキャンデータに対して、サーバー内で「画像処理」と「バッチ区切り処理」が行えるようになります。また、ファイルの送信先に「FTP」と「メール送信（SMTP）」が設定可能になります。

直感的な操作ができる「大画面カラーLCDタッチパネル」

4.3インチの大画面カラーLCDタッチパネルを搭載

見やすいカラー表示と、タッチするだけの簡単操作を実現しました。

直感的な操作が可能のため、作業者が迷わず操作でき、教育などにかかる管理者の負荷も軽減できます。



送信前にスキャンデータをプレビュー表示

誤送信やスキャンミスによるやり直しを削減するため送信前にスキャンデータを確認できます。



エラー時の対応方法をヘルプ表示

エラー発生時の対応方法をヘルプとして液晶画面より確認可能です。



ジョブの表示方法を選択可能（アイコン／リスト）

従来機※ではリスト表示のみであった操作画面をアイコンとリストより選択可能になりました。
これにより好みの操作画面でお使いいただけます。

※ DR-S150のこと

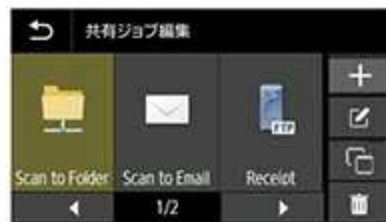


UIカスタマイズSDK

ユーザーニーズに合わせたカスタマイズが可能

UIカスタマイズSDKにより本体画面をカスタマイズできます。表示項目を絞ることにより誤操作を減らし作業の効率化に寄与します。

※ 開発キットは「キヤノン デベロッパーサポートプログラム」に入会いただいた会員様向けのご提供となります。



カウンターやデスクで使える省スペース設計

本体幅291mm、約3.4kgの軽量・コンパクトボディを実現。デスクや窓口カウンターにもすっきり設置できます。



バーコード／パッチコードによる仕分け機能

バーコード・2Dコードに標準対応

バーコード・2Dコードやパッチコードの読取を標準機能として搭載。バーコード情報を読み込みインデックスファイルとして出力すれば他のアプリケーションにバーコード情報を送ることができます。また、パッチコードの仕分け機能で、纏めてスキャンし、ファイルを分割することができます。